

はむねっと
4周年！

ジェンダー平等

山の登りかた
2024年度版

報告
はむねっと 監事
渋谷典子

- ① 実態を把握→アンケート(はむねっと:2021.2022年.2023年.2024年)／ヒアリングの実施(科研費による調査継続中)
- ② 集会の開催 → **多様な主催者**による集会
- ③ 学習会・研究会の開催 → 市民、議員そして研究者・弁護士の方々への参加を呼びかけ！
- ④ 協働 → 労働組合・NPO・市民団体・専門職団体・教育機関(大学・高校)等
- ⑤ **国会議員・自治体議員・政党への働きかけ** → 院内集会で訴求／意見書採択へ
- ⑥ 国(関連省庁)への働きかけ → 総務省・厚労省ヒアリング／「大量離職通知」提出義務あり
- ⑦ **自治体への働きかけ** → 意見書採択・全国の自治体等へ要望書を送付「1789プロジェクト」
- ⑧ メディアへの働きかけ → 記者会見および情報提供／取材多数
- ⑨ 法・制度の活用 → 「**住民監査請求**」(会計年度任用職員本人ではなく、住民として、広義の当事者が請求者になる想定?)・「**労働協約の地域的拡張適用**」(一部の労組と結んだ協約が、一定の地域全体に適用される!)の可能性あり
- ⑩ **国際的な発信** → **【ILO／専門家委員会】**非正規公務員の労働基本権勧告・会計年度任用職員制度の見直し

【CEDAW(国連・女性差別撤廃条約)】日本報告審査 **【北京+30 国内レビュー】**意見提出
【SDGs／ゴール12(生産・消費:つくる責任・つかう責任)】持続可能な公共調達

1 市民社会の動き



◆ 6月6日、2025年2月19日:「これでいいのか図書館」院内集会
<担い手にまっとうな待遇を求める院内集会>

<https://nrwwu.com/gathering/2626/>

<会計年度任用職員の継続雇用を求める院内集会>

<https://nrwwu.com/events/2838/>

◆9月13日:東ゼン労組ALT(外国語指導助手)支部による、会計年度任用職員の団結権を取り戻すための訴訟→総務省が準備書面提出

<裁判支援のサイト> <https://www.call4.jp/info.php?type=items&id=10000116>

◆10月9日:東京都の非正規公務員として働くスクールカウンセラーが更新拒絶は不当として東京地裁へ提訴

<なぜ裁判を闘うのか／東京都スクールカウンセラー雇い止め裁判原告の思い>

<https://www.shinrishiunion.org/post/%E3%81%AA%E3%81%9C%E8%A3%81%E5%88%A4%E3%82%92%E9%97%98%E3%81%86%E3%81%AE%E3%81%8B>

◆11月18日:日本労働弁護団／非正規公務員制度立法提言

<https://roudou-bengodan.org/proposal/hiseikikoumu/>

2 国際的な動き



◆ ILO／国際労働機関

2月：雇用政策条約に絡めてILO専門家委員会が、会計年度任用職員制度の問題点を指摘

<2024 ILO専門家委員会報告書のポイント>

https://02ae0dfd-85c4-4441-9442-311a084091f6.filesusr.com/ugd/f64231_d08d074766f940f69a26b088be779896.pdf

6月：ILO総会委員会（基準適用委員会）が、労働基本権問題で、2024年9月1日までに報告書の提出を日本に求める

<ILO報告集会・2024専門家委員会報告>

https://02ae0dfd-85c4-4441-9442-311a084091f6.filesusr.com/ugd/f64231_f9a748d37b154b02a8cba17b977d85ff.pdf

◆ CEDAW／国連・女性差別撤廃委員会

10月：日本政府報告審査に向けて、日本女性差別撤廃条約NGOネットワーク（JNNC：女性グループの連合体）が出したレポートに、はむねっとの調査結果を使った公務非正規問題についての情報が提供される

<第9回日本報告審議>

<https://www.jnnc.jp/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%A0%B1%E5%91%8A%E9%96%A2%E9%80%A3/>

3 地方自治体の動き



◆11月15日:愛知県みよし市小山祐市長

第19回マニフェスト大賞「政策・まちづくり部門 最優秀賞」

・報酬の大幅な引き上げ

この取り組みを通じて9.5%引き上げ、国が行った処遇改善を合わせると、令和4年度比で21%の引き上げとなった。

・年収の壁に捉われず、常勤職員に近い勤務体系での働き方の促進

・会計年度任用職員の逡減と正規職員の増加

<みよし市ホームページ>

<https://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/soshiki/keieikikaku/hishokoho/hisho/15/8201.html>

◆2025年1月30日:鳥取県／「短時間正職員制度」発表

<鳥取県「短時間正職員」導入へ 短い労働時間でも正職員に>

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/tottori/20250130/4040019546.html>

◆2025年3月:雇用年限の撤廃はここまで進んできた

<2024年首都圏自治体の人事院・総務省からの新たな通知を受けた雇用年限回数制限撤廃の対応／なくそう！官製ワーキングプア！東京集会実行委員会>

<https://nakusoukanseiwpx.wixsite.com/tokyo-syukai/post/%E9%9B%87%E7%94%A8%E5%B9%B4%E9%99%90%E3%81%AE%E6%92%A4%E5%BB%83%E3%81%AF%E3%81%93%E3%81%93%E3%81%BE%E3%81%A7%E9%80%B2%E3%82%93%E3%81%A7%E3%81%84%E3%82%8B%EF%BC%81>

4 国の動き

同一の者～連続2回限度
削除される



◆6月27日:総務省／「会計年度任用職員制度の導入等に向けた事務処理マニュアル(第2版)」の改正

https://www.soumu.go.jp/main_content/000955781.pdf

◆12月2日:総務省／子の看護休暇や非常勤職員の休暇の見直し等

https://www.soumu.go.jp/main_content/000979955.pdf

◆12月27日:総務省／会計年度任用職員制度の適正な運用等

https://www.soumu.go.jp/main_content/000985060.pdf

◆2025年1月24日／石破茂首相が第217国会施政方針演説で、会計年度任用職員の在り方の見直しについて表明

2025年1月24日★石破首相 施政方針演説

<https://www.kantei.go.jp/jp/103/statement/2025/0124shiseihoshin.html>

人口減少下においては、官民が連携した人づくりや公教育の再生・改革により、一人一人が持つ可能性を最大限引き出すことが必要です。＜中略＞
これらの取組を応援するため、地方公務員の兼業・副業の弾力化、
会計年度任用職員の在り方の見直し等により、地域の中の方々が力を発揮できる環境を整備します。国の職員が、課題を抱える市町村に寄り添って、
顔が見え、熱が伝わる伴走支援を行う仕組みを新たに始めます。

＜後略＞

5 ジェンダー課題～公務非正規女性に着目して 「ジェンダー化された公共サービス」

「男性稼ぎ主型」モデル

- ・正社員：職務と勤務地の無限定的な働き方→男性
 - ・アンペイドワーク(家事・育児・介護等)の担い手
→女性／再び労働市場へ戻るときにはパートタイム労働へ参入
- 主たる稼ぎ手の存在を基盤とした家族形態の下、女性たちの労働は家計補助的とみなされ、賃金水準も低く、雇用調整を図るための有期雇用を前提としていた
- 「男性稼ぎ主型モデル」が崩壊しつつある

ジェンダー化された
公共サービス

『新時代の 「日本的経営」』

- 雇用ポートフォリオへ公務労働を当てはめてみる
→自治体の非正規公務員は「雇用柔軟型」
- 自治体においても、行財政改革の論理の下、正規職員の減少を補填する形で非正規職員が増大（「公務の民間化」も含めて）
- ★新自由主義的な公務改革
⇒公務労働へ影響／定員削減
- 非正規公務員に「家計の主たる担い手である」女性たちが増加

★2025年★ 男女雇用機会均等法 ～制定から40年！

- ・高度経済成長期
労働力不足・女性の意識の変化
⇔性別役割分業観
- ★結婚退職制、若年定年制 差別の横行
→ 男女平等に反する制度が広く存在していた
- ・1960年代後半：男女平等取扱いの公序法理を確立
判例が蓄積される
- ・1979年：国連「女性差別撤廃条約」を採択
- ・1980年：日本は、「女性差別撤廃条約」を署名
→批准に向けて国内法整備へ
- ・1985年：「勤労婦人福祉法」を改正
→「男女雇用機会均等法」制定
→「女性差別撤廃条約」を批准へ

1975年
国際婦人年／
国際女性年
→1995年
第4回世界女性
会議・北京

女性活躍推進法
(女性の職業生活
における活躍の推
進に関する法律)
2015年成立・施行



「つながる」ために！

<http://nrwwu.com/>

「はむねっと」ホームページへ、ぜひ★



連帯には、原因がある。
3%の共有から！
未来をつくるために、連帯する。

